



共同宣言に署名した矢野秀弥会長（前列左）ら  
11機関・団体の代表

とで地域経済の活性化に寄与する」と明記した。

山形県商工会議所連合会はこのほど、山形県経営者協会、山形経済同友会、山形県中小企業団体中央会、山形県商工会連合会、日本労働組合総联合会山形県連合会、山形県トラッキーの機運を醸成する宣言には、「事業者が高騰する原材料費、エネルギーコスト、人件費などの上昇分を十分に価格転嫁できない現状を踏まえ、適切に価格へ転嫁することについての機運を醸成する

小企業・小規模事業者の賃上げが重要であるが、賃上げしたくもできない事業者が多く、こうした企業が地域経済を支えている。成長に向けた投資や、自発的、持続的な賃上げには生産性の向上とともに取引適正化が不可欠であり、パートナー・シップ構築宣言の拡大と実効性向上に向け、労使が連携して取り組みを進めていかなければならぬ」と述べた。

## 11機関・団体で共同宣言

山形県連

## 価格転嫁の円滑化へ

ツク協会、経済産業省  
東北経済産業局、厚生  
労働省山形労働局、国  
土交通省東北運輸局山  
形県運輸支局、山形県  
の山形県内11機関・団  
体で「価格転嫁の円滑化  
により地域経済の活性化  
性化に取り組む共同宣言  
言」を行った。中小企  
業や小規模事業者のコ  
スト上昇分を円滑に価  
格転嫁し、賃金の引き  
上げ、地域経済の活性  
化を目指す。組織の枠  
組みを越えた取り組み  
は東北で初めて。共同

で、価格転嫁に関する助成金制度や支援策の周知による販上げできた環境の整備▼大企業と中小企業・小規模事業者の共存共栄に向けた「パートナーシップ構築宣言」の普及拡大に努める▼共同宣言の趣旨を理解し、発注者に対しても価格交渉を誠実に実行するよう働きかけるなど、相互に連携するとした。